

# 第 3 章



まちづくりのための主要課題の整理

## 第3章 まちづくりのための主要課題の整理

### ① 自然との共生

近年の住宅地等の開発により、かつての丘陵地、里山<sup>\*</sup>、農地が消失されつつあります。これらは、郷土の風景として人々が身近に感じる要素であるとともに、これからの時代においては貴重な魅力要素となるものであるため、これら自然環境の保全を図る必要があります。また、農地については農業生産機能の維持・向上を図るといった観点からも保全を図る必要があります。

さらに、白里海岸については、その保全を図るとともに、本町の重要な海浜レクリエーション地として有効活用を図る必要があります。

#### 【まちづくり上の主要課題】

- 失われつつある緑地資源の保全
- 田園景観を形成する農業的土地利用の保全
- 海浜地域を主体としたレクリエーション機能の強化

### ② 身近な住環境の改善又は保全

旧市街地及びスプロール<sup>\*</sup>市街地においては、道路・下水道等の生活基盤整備が住民の方から最も強く要望されています。生活利便性を向上させるためだけでなく、生活安全性を確保するためにも、地域の実情を踏まえながらきめ細やかに居住環境の改善を図る必要があります。一方、面整備により計画的に開発された住宅地においては、今後ともその良好な居住環境が維持されるよう努める必要があります。

#### 【まちづくり上の主要課題】

- 既成市街地及び市街化調整区域<sup>\*</sup>内の宅地化された区域における生活基盤整備

### ③ 分散する地域間の連携強化

本町は、大網、増穂、白里という3つの旧市街地、そしてみどりが丘、みずほ台、みやこ野、ながた野、季美の森という5つの新住宅地が分散しており、地域住民の意向にもばらつきがみられるため、各地域間を結ぶ交通網の整備を進めるとともに、地域の特性を活かした役割分担・機能連携を図ることが必要です。

#### 【まちづくり上の主要課題】

- 分散する市街地の連携を強化する交通網等の整備とともに、地域の特性を活かした役割分担、機能連携

## ④ 多様な交通手段の確保

町内の移動手段は自家用車が中心となっているため、主要な幹線道路や鉄道駅周辺において交通混雑が発生しているとともに、JR大網駅周辺の駐車場対策についても問題となっています。円滑な交通を確保し、さらに、CO<sub>2</sub>をはじめとする環境への負荷を軽減するには、市街地内への通過交通を排除するための道路整備を促進する一方で、公共交通等への転換によって交通量そのものを軽減する必要があります。ただし、現在の駐車場収入に代わる収入の確保などについて、慎重に配慮しながら取り組むことが必要です。

## 【まちづくり上の主要課題】

- 高速交通体系を活かす交通網づくり
- 環境問題、高齢社会に対応する公共交通の確保
- 中心市街地の駐車場対策
- 主要幹線道路の交通混雑の解消

## ⑤ まとまりのある健全な市街地の形成

これからの都市づくりは、道路・下水道等の生活基盤施設の整備を効率的に進める上で、また農地における営農基盤を維持する上で、コンパクトでまとまりのある市街地を形成することが求められています。そのため、将来の開発地・保全地の区分を明らかにするとともに、本町の核となる中心市街地において土地の高度利用、及び都市機能の集積を図ることが必要です。

## 【まちづくり上の主要課題】

- 分散した市街地のそれぞれの個性を活かしながら、利便性、快適性、安全性を備えたまとまりのあるまちづくり
- 大都市圏のベッドタウンから脱却し、職・住・遊の機能がバランス良く配置されたまちづくり
- 本町の中心地であるJR大網駅周辺地区の「まちの顔」としての整備



大網駅東地区

